

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	枚方市駅周辺地区第一種市街地再	階数	地上29F
建設地	大阪府枚方市岡東町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	8,643 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2021年8月31日
敷地面積	22,267 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社大林組
建築面積	18,307 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月31日
延床面積	96,700 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社大林組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.4</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.8</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>枚方市に新設される複合施設の計画である。光環境や空気質環境への配慮、良好な通信環境の整備など居住者の快適性・機能性向上に努めた。またリサイクル材等の採用により環境へ配慮している。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>良好な昼光率や自然換気性能を確保することで、居住者の光環境・空気質環境に配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>免震装置を導入し耐震性を高め、十分な階高や壁長さ比率に配慮しフレキシビリティのある計画としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外壁緑化などを積極的に取り入れ、緑化による景観の向上に配慮し、地域に開放される施設提供を行うことで地域性への配慮をしている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率設備の採用により省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>仕上材料にリサイクル材を採用し省資源に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO<sub>2</sub>の削減に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0053

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業 第3工区						
	建設地	大阪府枚方市岡東町						
	用途/区分	事務所 物販店 集合住宅 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.6	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.0	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.7	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							